

3. 用語解説

【アドミッション・オフィス（AO）入試】

書類審査と面接等を組み合わせることによって、受験生の能力・適性、学習に対する意欲や目的意識等を総合的に判定し、選抜する方法。

【アドミッション・ポリシー】

受験生に求める能力、適性等についての考え方や入学者選抜の基本方針。

【インターンシップ】

学生が在学中に、企業等において、自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと。

【OPAC】

利用者が図書館の所蔵資料を検索するために用いるコンピュータ化された目録。オンライン閲覧目録。利用者が直接端末機からオンラインで図書館のコンピュータと接続し、蔵書データベースを検索可能。OPACは、Online Public Access Catalogの略。

【オフィスアワー】

授業内容等に関する学生の質問等に応じるための時間として、教員があらかじめ示す特定の時間帯。

【外部評価／第三者評価】

外部評価は、学校の教育活動等について、学校側が選定する学外者から評価を受けること。一方、第三者評価は、第三者的立場にある評価機関等が実施する評価のこと。

【学術情報ネットワーク（SINET）／ノード】

全国の国公立大学や研究機関等を高速通信回線で接続する教育研究用の情報通信ネットワーク。海外の研究情報ネットワークとも連携している。ノードとは、その接続拠点のこと。

【カリキュラム・ポリシー】

教育課程の編成及び実施方法に関する基本的な考え方をまとめたもの。この方針の策定に当たっては、教育課程の体系化、単位の実質化、教育方法の改善、成績評価の厳格化等について留意することが必要である。

【機関リポジトリ】

大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービス。

【キャップ（CAP）制】

学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するよう、1年間又は1学期に履修登録できる単位数に上限を設ける制度。

【CALL】

コンピュータ支援言語学習のこと。オーディオ、ビデオ、コンピュータなどの機器を使って外国語を学ぶシステムに、PCネットワークを利用して外国語を学ぶシステムを組合せた学習方法が可能。CALLは、Computer-Assisted Language Learning の略。

【GPA制度】

授業科目ごとの成績評価に対して、GP（グレードポイント）を付し（例えば、5段階（A、B、C、D、E）の成績評価に対して、それぞれ4、3、2、1、0のGP）、この単位当たりの平均を出し、その一定水準を卒業などの要件とする制度。GPAは、Grade Point Average の略。

【スタッフ・ディベロップメント（SD）】

事務職員や技術職員等を対象に、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質を向上させるための組織的な取組の総称。SDと略して称されることもある。

【セメスター制】

1つの授業を1年間通じて実施する通年制の前期・後期等とは異なり、1つの授業を学期（セメスター）ごとに完結する制度。

【中期目標】

国立大学法人等が6年間で達成すべき業務運営に関する目標。文部科学大臣は、当該国立大学法人等に示すとともに公表している。公立大学法人については、6年間の中期目標を設立地方公共団体の長が当該公立大学法人に指示するとともに公表している。

【中期計画】

国立大学法人等が、文部科学大臣が示す中期目標を達成するために作成する計画。中期計画を作成若しくは作成した中期計画に変更を加える場合には、文部科学大臣の認可を受けなければならない。公立大学法人については、設立地方公共団体の長が指示する中期目標を達成するために当該公立大学法人が作成しており、計画の作成又は変更にあたっては、設立地方公共団体の長の認可を受けなければならない。

【チューター制度】

主として、外国人留学生に対し、日本人学生が日本語の指導、学習や生活上の様々な支援を行う制度。

【長期履修学生制度】

職業を有している等の個人の事情に応じて、大学の定めるところにより、学生が大学の修業年限を超えた一定期間にわたって計画的に教育課程を履修し卒業することを認められる制度。平成14（2002）年度から実施。

【DAISY】

視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のためにカセットに代わるデジタル録音図書の国際標準規格として、開発と維持が行なわれている情報システム。DAISYは、Digital Accessible Information System の略。

【ディプロマ・ポリシー】

学位授与に関する基本的な考え方について、各大学が、その独自性並びに特色を踏まえ、まとめたもの。この方針において、卒業（修了）生に身に付けさせるべき能力に関する大学の考えを示すことにより、受験者が選択する際や、企業等が卒業（修了）生を採用する際の参考となる。

【テニユア・トラック制】

任期制等により一定期間、若手研究者が自立した研究者としての経験を積んだ上で、厳格な審査を実施し、その間の業績や教員・研究者としての資質・能力が高いと認められた場合には、任期を付さない職を与える仕組み。

【国公私立大学を通じた大学教育改革の支援（教育GP／特色GP／現代GP など）】

国公私立大学を通じた競争的環境の下で、特色・個性ある優れた取組を公募により選定し、支援を行う文部科学省の事業。この事業には、質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）、特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）、現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）、新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム（学生支援GP）、大学生の就業力育成支援事業等が挙げられる。

【特別教育研究経費】

運営費交付金のうち、新たな教育研究ニーズに対応し、各国立大学等の個性や特色に応じた意欲的な取組を支援するための経費。

【TOEIC】

アメリカのETSが開発した英語によるコミュニケーション能力を測定するためのテスト。TOEICは、Test of English for International Communication の略。

【TOEFL】

アメリカのETSが開発した、アメリカやカナダへ留学を希望する外国人のための英語の学力テスト。TOEFLは、Test of English as a Foreign Language の略。

【フィールド型授業】

学生の学習効果を高めるための野外における調査など教室や実験室外における実践的な授業。

【ファカルティ・ディベロップメント（FD）】

教員が授業内容・方法を改善し、教育力を向上させるための組織的な取組の総称。FDと略して称されることもある。その意味するところは極めて広範にわたるが、具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催などを挙げることができる。

【リカレント教育】

学校教育を修了後、一度社会に出た者を対象に行われる教育。職場から離れて行われるフルタイムの教育のみならず、職業に就きながら行われるパートタイムの教育も含まれる。